
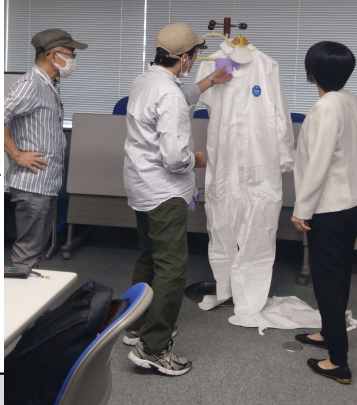


※この報告書の(受講者の声)までが、なごや環境大学のウェブサイト上に掲載されます。

様式2  
(2024年度)

事業実績報告書

講座番号	B-47	講座名	セントレアまるごとウォッチング2024
記載日		団体名・企業名	環境カウンセラー岡本明子
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>社会見学型環境講座：国際空港セントレアで、水際対策、環境配慮、安全確保の仕組みを学ぶ。身近な生活と環境が関わりあっていることを知る。セントレア講座では、国際空港での水際対策の重要性、困難さを伝え、自分たちの生活を顧みる機会とする。</p> <p>グローバル化の光と影を考える。影の部分がなくそうと工夫を重ねる国の仕組みを知る。</p> <p>環境面からやり玉に挙げられることもある飛行機だが、島国日本にとっては必要なもの。空港関係者の環境配慮、安全確保への努力などを知り、理解を深める。</p> <p>講義：動物検疫所、環境省／見学＋講義：税関、出入国在留管理庁、植物防疫所、国際郵便局、航空局、航空気象台、中部国際空港株式会社、サンエイ(株)、エネルギー供給(株)</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
防疫服の見学：動物検疫所		観測地点を見学：航空気象台	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>今年度のセントレアまるごとウォッチングも無事終了しました。関係者の皆様に心から感謝いたします。また、個人情報をお聞きするだけでなく、各種制約の多い講座にもかかわらず、ご協力いただいた参加者の皆様にも、感謝しています。</p> <p>残念なのは、参加者が少ない事でした。各機関が、時間を割き、丁寧に準備して下さったのにも関わらず、参加者5人は、見学先の皆様にも申し訳なく思います。ただ、少ないだけに、質問など出やすい雰囲気、活発な質問が出ていました。</p> <p>アンケートや会話から、参加者には、講座の意図が伝わった様で、企画者としてはうれしい限りです。最後に、ご家族など、少なくとも2人以上に伝えてくださいとお願いしました。</p> <p>参加者から、高校生のお子さん向けに講座を企画してもらえないかと相談を受けました。若い人対象、やってみたいです。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<p>通り過ぎるだけだった空港に、こんなにいろいろな施設・機関があることを知らなかった。今後、興味を持って空港を見るような気がする。／普通では入ることのできない現場を見学できてよかった。植物の検疫現場は興味深かった。／パスポートがなければ入れない場所の見学までできるとは思わなかった。現場で見たので、今後にすぐ役立ちそう。／コロナもあり、水際対策に興味を持ったが、こんなにいろいろあるとは思わなかった。</p>			